

令和2年（2020）6月12日～6月16日

令和2年度（2020）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和2年度（2020）第3回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表 目次

6月12日（金） 10:00 開会			6月15日（月） 10:00 開会			6月16日（火） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	板倉 一郎	3	1	岸 道三	11	1	伊藤 繁満	18
2	錦 織 稔	4	2	後藤 由美	12	2	玉木 満	19
3	川光 秀昭	5	3	大場 利信	13	3	本田 一勇	20
4	福島 孝雄	6	4	保科 孝充	14			
5	湯浅 啓史	7	5	山内 英司	15			
6	神門 至	8 ～ 9	6	大谷 良治	16			
7	今岡 真治	10	7	児玉 俊雄	17			

質問者	24	板倉 一郎
-----	----	-------

質問事項・質問内容

(1) 新型コロナウイルス感染症に伴う学校などの対応について

- ① 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、日本のみならず世界の社会および経済に大きな影響を与えました。それは、教育現場においても同様であり、児童・生徒も長期休業も含め大きな影響がありました。また、保護者にも大きな負担がありました。そこで、次の点などを伺います。
- ア 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、学校にどのような影響があったか伺う。
 - イ 新型コロナウイルス感染症の全国に発せられた緊急事態宣言も解除され、徐々にいろいろな制限が解除されている。現在の学校における対応を伺う。また、不足授業数の対応や夏休みが短縮される場合の給食などの対応を伺う。
 - ウ 特に中学校3年生の部活動の集大成である様々な文化・スポーツの大会などが中止になっている。今後、代替の大会などの実施は検討されるのか伺う。また、学校行事の運動会や学習発表会、修学旅行などは、どのように考えているのか伺う。
 - エ 新型コロナウイルス感染症は、今後も、第二波、第三波と続くとともに、インフルエンザ流行期と同じ時期に再度大きな流行があるのではないかと心配されている。それに向けての対応について伺う。
 - オ 保護者への対応についても伺う。
 - カ 幼稚園についても、同様に伺う（上記ア～オの該当する項目）。

(2) 空き家の防災（特に防火）対策について

- ① 5月25日、出雲市中心部で人の住んでいない住宅より火災が発生しました。幸い、当日無風であったこと、昼間で発見が早かったことから、延焼がなく鎮火しました。しかし、一つ間違えば住宅密集地での大火災となるところでした。空き家の防災（特に防火）対策について、市の取り組みなどについて伺う。

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 「新しい生活様式」の定着に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染症対策について <ul style="list-style-type: none"> ア 「新しい生活様式」の定着に向けて、3密（密閉・密集・密接）回避などをどう定着させるのか イ 医療・高齢者施設などに、マスク、消毒液など物資が充足しているか ウ 次亜塩素酸水の有効性の認識 エ 第2波の到来に向けての備え。インフルエンザ予防の広報 ② 市職員の非常時の勤務について <ul style="list-style-type: none"> ア 本庁または行政センターが閉鎖になったときの勤務 イ テレワーク構築や時差出勤などの新たな働き方について検討されているか ③ コミュニティセンターの運営について <ul style="list-style-type: none"> ア 密閉・密集・密接をどのように回避しているのか イ 「新しい生活様式」に合わせ、今後の運営、会場使用のマニュアル ウ 地区内の諸行事を円滑に行うためのガイドライン 	
(2) G I G Aスクール構想について	
<ul style="list-style-type: none"> ① SNSでの誹謗中傷など、発達段階に応じた情報モラル教育の徹底 ② 導入による問題点の整理と対策 ③ 市内の小中学校へ光回線が接続されているか ④ 今後発生する通信費などのランニングコストの予測 ⑤ 学習ソフトの充実に向けての準備 	

質問者	5 川 光 秀 昭
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の主要事業の財源は確保できますか	
<p>① 出雲市の新型コロナウイルスの感染者は確認されたものの、全国の感染者数から考えると、死者も出ておらず、医療上は最小限に抑えられたと思われるところです。</p> <p>一方、経済への打撃は全国レベルと同じかそれ以上で、観光客もほぼ見かけなくなりました。内閣府の発表では、1月～3月の実質国内総生産（GDP）速報値は、前期比年率で3.4%の減となりました。観光庁によると、訪日外国人客数は99.9%の減、帝国データバンクによれば、不況型倒産が約8割を占めています。</p> <p>コロナ禍での不況時に、出雲市は昨年度の第5回市議会で承認した今年度の予算を執行できるのでしょうか。また、市税の納付が困難な場合には、徴収猶予の支援も用意されています。出雲市の昨年度と今年度、来年度の歳入、特に税収について、次の3点について質問します。</p> <p>ア 令和元年度の歳入（市税）の減（増）収額、および徴収猶予で納税が遅くなった場合の税収上の処理、また現在までの届け出の件数と金額</p> <p>イ 令和2年度、3年度の歳入（市税）の減（増）収の見込み</p> <p>ウ 政府が令和2年1月に行った、決算上の余剰金の処理に対する特例措置が市町村で行えると仮定した場合の利点と欠点</p>	
(2) コロナ禍の次の波に備えて	
<p>① コロナ感染者がいつ、どこで発生するか分からないような状況で、全ての皆さんが緊張した毎日を過ごしていました。緊急事態宣言が解除され、日常が少しずつ回復してきましたが、医療や介護の現場ではなお注意を怠ることは出来ません。</p> <p>そのような中で、厚生労働省より「新しい生活様式」の実践例が発表され、出雲市でも、広報いずも臨時号にその実践が掲載されています。基本的感染対策が、今までよりは具体的に示してありますので、今後はこの実践に従いたいところです。</p> <p>新しい生活様式を実践するに当たり、介護現場で私が遭遇した疑問について、出雲市の中で意思を統一しておく必要もあると思いますので、次の2点について質問します。</p> <p>ア 石けんで丁寧に洗うことになっています。厚生労働省のパンフレットは、手指消毒液の使用も可となっています。何（薬品）をどのように使えばよいのでしょうか。</p> <p>イ こまめに換気することが推奨されています。同様にパンフレットは、対面での打ち合わせは換気とマスクとなっています。真夏や冬でも定期的に窓を開けないといけないのでしょうか。</p>	

質問者	15 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 今後の出雲市地域防災計画の取り組みについて	
<p>① コロナ禍を踏まえた防災・減災対策について伺う。</p> <p>ア 避難体制の拡充</p> <p> a 分散避難、避難訓練の考え。</p> <p> b 計画策定のスケジュール。</p> <p>イ 避難所の拡充</p> <p> a 衛生環境、備蓄品、避難所運営の考え。</p> <p>ウ 国の補正予算案の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用</p> <p> a 災害時での交付金の用途。</p> <p> b 出雲市の取り組み（活用内容）とスケジュール。</p> <p>エ 避難計画について、市民への周知</p>	
(2) 出雲市の遠距離通学支援について	
<p>① 遠距離通学支援の内容を伺う。</p> <p> ア 支援の条件。</p> <p> イ 各通学手段（スクールバス・タクシー等）の利用児童人数。</p> <p> ウ 遠距離通学支援の経費（個人負担・行政負担）。</p> <p>② 朝陽小学校・平田4地区小学校統合後の遠距離通学支援予定の内容を伺う。</p> <p> ア 各通学手段（スクールバス・タクシー等）の利用児童の人数（推定）。</p> <p>③ 遠距離徒歩通学支援について伺う。</p> <p> ア 遠距離徒歩通学の児童数（学校別）と1人あたりの補助金額。</p> <p> イ スクールバス等の利用者との不平等感。</p>	

質問者	11	湯 淺 啓 史
-----	----	---------

質問事項・質問内容

(1) 20年後を支える人材をどのように育成していくか

- ① 今般のコロナ禍は、あらゆる分野に多大な影響を及ぼし、これまでの価値観をも崩しているといっても過言ではない。
 アフターコロナと言われる世界は自らの力でデザインしていく必要があると考える。
 予測することが重要な事ではなく、いかに切り拓き形作っていくかこそが重要である。
 現在小・中学校に在学している子どもたちの育成に今何が必要かを問う。
 ア 20年後を支える人材となり得る子どもたちに、どのようなサポートが必要か
 イ ICT分野などのツールをどのように取り入れていくのか
 ウ ソーシャルディスタンスをはじめとした新しい生活様式を、教育現場にどのように応用していくのか

質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルス感染症による不安解消の施策について	
<p>① 今、日本は新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの国民を巻き込み、多くの感染者・犠牲者が確認されるなど、前例・経験のない未曾有の非常事態に直面しています。とりわけ、出雲市でも感染者が確認されて以降、感染症の脅威と危機意識、様々な不安が蔓延する中、市民の皆様はもとより医療や介護、学校現場など様々な皆様からご協力をいただいております。しかし、国の緊急事態宣言の解除がなされた今日においても、未だ感染症の第2波・3波への不安や各種イベントの中止などから、これまでの日常生活を取り戻すまでには至らない状況にあります。</p> <p>これまで市は、「感染拡大の防止を図りながら、社会経済活動を徐々に通常に取り戻していく。コロナに打ち克つ」ことを目標に掲げ、市独自の施策として総額13億円に上る緊急経済対策に取り組んでいます。この取り組みは評価すべきで、国や県の施策への検証や対応を踏まえた中で、次なるステージへ踏み出していくべきと考えます。</p> <p>前例・経験の無い「感染症」に関する不安解消こそ、安全・安心な日常社会を取り戻す第一歩であり、引き続き、国・県はもとより、PCR検査体制や病床確保など、市民に対して正確な情報の提供・周知や対策、その施策を講じていくことが市に求められていると考えます。</p> <p>そこで、次のことについて伺います。</p> <p>ア 市民への情報・周知について</p> <p>a 令和2年3月1日～5月31日間の対応は</p> <p>イ 市民からの相談・問い合わせ(状況)について ※令和2年3月1日～5月31日間の状況・相談内容について 次の各課の状況について答弁願います</p> <p>a 健康相談に関しては(健康増進課)</p> <p>b 自治会活動に関しては(自治振興課)</p> <p>c 小学校・中学校に関しては(教育政策課)</p> <p>d 保育所・幼稚園に関しては(保育幼稚園課)</p> <p>e スポーツ・文化活動に関しては(文化スポーツ課)</p> <p>f 雇用に関しては(産業政策課)</p> <p>g 中小企業の支援に関しては(商工振興課)</p> <p>ウ 国の支援施策について</p> <p>a 個人・世帯向け支援制度の申請・給付状況は (給付に関する支援施策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金 ・子育て世帯への臨時特別給付金 ・住居確保給付金 	

エ 市の支援施策について

- a 個人・世帯向け支援制度の申請・給付等の状況は
(給付に関する支援施策)
 - ・ひとり親世帯等臨時給付金
 - ・生活資金支援給付金
 - ・住居確保困難者支援給付金
 - ・傷病手当金(納税・支払猶予等の支援施策)
 - ・徴収猶予
 - ・支払猶予
 - ・家賃減免(その他)
 - ・市営住宅の提供
 - ・就学援助事業

- b 事業者向け支援制度の申請状況・給付等の状況は
※資金繰りに関する支援施策
 - ・出雲市中小企業等緊急支援給付金
 - ・出雲市中小企業信用保証料補助金※その他支援施策
 - ・地域商業等再起支援事業補助金
 - ・出雲市商工団体等事業継続支援活動補助金
 - ・農林水産物販売活動支援補助金

- c 市有施設を運営する指定管理者への支援施策の状況は
※財政支援
※その他支援

オ 今後の第2波・3波に備えた対応及び支援施策について

- a 今後の第2波・3波に備えた対応は
- b その支援施策の考えは

カ 今後の社会経済活動について

- a 外出・イベントなどの市の見解は

キ 今後の財政見通しについて

- a 感染症拡大の影響による市の見解は

(2) 大規模な自然災害等の備えについて

- ① 今、国内では各地で地震が頻発し、大規模な地震や梅雨時などの自然災害への対応が求められています。とりわけ、梅雨期に入り、過去には出雲市でも大規模な自然災害が発生するなど、これまでの経験・教訓を生かした自然災害への備えが求められています。

これまで市では、出雲市危機管理指針に基づいて災害対策の備えがなされていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大規模災害時の避難所などの在り方等の備えが急務ともいわれています。また、災害時や熱中症などの救急搬送など、市民の生命・財産を守る特殊な業務を担う消防の役割は、従前に増して不可欠であり体制強化が求められていると考えます。

そこで、次のことについて伺います。

ア 大規模災害時の対応について

- a 市民への情報・周知の備えは
- b 災害時における避難所等の備えは
- c 消防体制の備えは

質問者	1 今岡真治
質問事項・質問内容	
(1) 小中学校における教育へのICT活用について	
<p>① 文部科学省は2019年12月、児童生徒1人1台の情報端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことなく、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させることを目指して「GIGAスクール構想」を発表しました。「GIGAスクール構想」に係る出雲市の考えについて伺います。</p> <p>ア ICT環境整備について</p> <p>イ ICT活用教育にどのように取り組まれるのか</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業に伴い、ICTを活用したオンライン学習が注目されています。オンライン学習に対する出雲市の考えを伺います。</p> <p>ア 出雲市における現状と今後の取り組み</p> <p>イ オンライン学習の課題</p>	

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 「出雲市公共施設等総合管理計画」の進ちよく状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 延べ床面積削減の実績と今後の見通し ② 個別施設計画の策定状況 ③ 計画の推進体制 ④ 市民への理解を深める取り組み 	
(2) 出雲市における土地利用の課題について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市街地拡大の現状 ② 土地利用の秩序化に向けた対策 ③ 都市計画マスタープラン見直しの必要性 	

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルスからあらゆる事業者と市民の暮らしを守るために	
<p>① 政府は5月25日、新型コロナウイルス感染症にかかわる「緊急事態」を全面的に解除しました。全体として収束しつつも感染は続いており、今後第2波が生じる可能性があります。今、それに備えたあらゆる体制強化・準備が必要です。また、今までの感染拡大と「自粛」によって様々な事業者が苦境に立たされ、市民の暮らしが追い込まれており、そこへの抜本的補償もいそがれます。そこで伺います。</p> <p>ア 今後さらなる感染の波が生じる可能性がある時、いち早くキャッチし適切な対応をとるためにも、今PCR検査体制を抜本的に拡充することが重要です。そのためにも保健所所管区域ごとにPCR検査センターが設置されるよう、国や県に働きかけることを求めますが、所見を伺います。</p> <p>イ 病院、介護・福祉施設など集団感染がおりやすい所で働く職員・患者・入所者は全員PCR検査を実施すること、一般病院では感染の恐れから患者が減り、大幅な減収となっているため減収補填が必要なこと、また医療用マスク・防護服など器財の不足が深刻で財政支援が必要など、次の感染拡大に備えるためにも大事だと考えますが、所見を伺います。</p> <p>ウ 感染者が出たときどうするのか、あらゆる事態を想定して体制を整えておくことが必要です。病院、介護・福祉施設などで職員が感染した場合、重度心身障がい児（者）を自宅で見守る家族が感染した場合等など、どのような手立てを考えているのか所見を伺います。</p> <p>エ 中小企業や個人事業主のみなさんは急激な減収で窮地に立たされています。国の補正予算、また市独自の緊急支援策も盛り込まれましたが、まだまだ不十分で「先が見えなく不安」との声が多数あります。さらなる支援が求められますが、所見を伺います。</p> <p>オ コロナの影響で減収になった市民に対する税や保険料の猶予、国保料の減免、子育て支援、学生への給付金など、国や県・市の様々な支援策が知られていません。あらゆる手立てをとり徹底することが求められます。所見を伺います。</p>	
(2) 医療的ケア児の保育園入園について	
<p>① 医療的ケアが必要な子どもをもつ両親から「保育園に入園し、集団の中で成長させたい」「仕事にも復職したい」と相談を受けました。そこで伺います。</p> <p>ア 医療的ケア児は医学の発展に伴い年々増え、社会的状況の変化をふまえて2016年児童福祉法が改正され「地方公共団体は、医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、保健医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との連絡調整体制の整備につとめなければならない」と明記されました。また同年4月には障害者差別解消法が施行され、障がいのある人が正当な理由なく障がいを理由として不当に差別的な扱いをうけることがないように、定めています。医療的ケアが必要な子どもも健やかに成長し、安心して暮らせる環境を行政が整えることが求められています。これは当然だと思いますが、所見を伺います。</p> <p>イ すべての子どもを受け入れることを、当たり前にならなければいけません。市も「第2期子ども・子育て支援事業計画」でうたっています。医療的ケア児も保育園に入園できるようにするために、今こそ市で真剣に協議する時です。医療、保健、福祉をはじめとした関係機関との連携が不可欠と考えます。受け入れを検討するための協議会を設置することを求めます。所見を伺います。</p>	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急支援等について	
<p>① 新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が5月25日に全都道府県にわたって全面解除されたとはいえ第2波の襲来を懸念して、全国民が不安な日々をすごしています。</p> <p>新型コロナは、生命・健康を直撃し、ひいては経済・産業・雇用・教育・生活の全般に影響を及ぼす特異なもので、国・県・市・民間金融機関がそれぞれ連携しあって対策と支援に取り組んでいます。市では5月11日に179億円の、5月25日には13億円の補正予算を可決し、子育て世代や困窮者への支援、教育への支援、産業などへ緊急の支援が講ぜられたところであります。</p> <p>国は新型コロナ対応臨時交付金を更に2兆円増額することとしています。この交付金は地方の裁量が生かされるものとして期待されており、影響が著しい分野への対症療法的支援や人々の次なるステップへの支援に有効に向けられるべきと考えます。</p> <p>そこで今後の市の施策について、以下伺います。</p> <p>ア 新型コロナ感染への不安が持続し、沈鬱ムードが漂う中、マスクの着用と3密を防ぎ、感染リスクを防止しつつ、経済活動や市民の日常の活動を活発化することが求められています。このことを市民の皆さんに理解していただく方法について伺います。</p> <p>イ 全国的に外出の自粛や人との交流を避ける方針が出され、観光、宿泊、運輸、小売り、娯楽等の分野は壊滅的な経済的打撃を受けております。この分野への具体的支援について市長は第3弾、第4弾の支援も厭わないとの頼もしい発言をしておられますが、これについて具体的な内容を伺います。</p> <p>ウ 新型コロナによる消費（需要）減により、障がい者施設で作る製品や農産物の価格が低迷したり、企業からの発注が滞ったりし、障がい者工賃に影響している旨を聞きますが、本市の状況はいかがですか伺います。</p> <p>エ 雇用の確保（非正規雇用も含めて）について、民間企業においては経済的に厳しい中、雇用調整助成金を活用して雇用継続を図っておられる企業もあります。市においても会計年度任用職員制度などを活用し、失業者の雇用の確保に努められるべきと考えますが、これについて伺います。</p> <p>オ 新型コロナの影響でアルバイト収入の減少により学業継続に不安を抱える市内の大学生、専門学校生への生活支援金の給付を考えるべきと考えますが、これについて伺います。</p> <p>② 事業の実施体制と財政への影響について</p> <p>ア 今年度は、緊急経済支援事業と当初予算で認められた事業を併せて実施することになり、職員の皆さんには大変な年度になりますが、働き方改革も含め、その実施体制（組織、人員）について伺います。</p> <p>イ 緊急経済支援事業を実施するに当たり、財源的には国・県の交付金や補助金が主であり、市の一般財源を大きく圧迫するものではないと思われませんが伺います。</p>	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 都市計画道路斐川中央線の整備計画と周辺排水対策を伺う	
<p>① 平成28年11月に出雲市都市計画道路の見直しが行われ、斐川地域においては将来の大動脈ともいえる都市計画道路斐川中央線の計画変更がありました。計画変更後の状況について伺います。</p> <p>ア 計画変更から約4年経過してどのように感じているか。</p> <p>イ 計画変更は見込みが違ったと思う。早急に都市計画審議会の議論の中に、計画変更を再提案していただき、道路の早急整備等の実態を調査して頂きたいがどうか。</p> <p>ウ 周辺は民間による住宅団地の造成、アパートの建設、駐車場の整備が、急激に進んでいる。計画道路の整備を早急に進め、周辺住民・企業の利便性向上に努めていただきたい。斐川中央線はいつごろから整備を予定しているか。</p> <p>エ 市全体の都市計画道路整備について、どのような年次計画か。</p> <p>オ 平成27年7月10日斐川文化会館で開催された地元説明会において、また、パブリックコメントの回答で新川中央線の歩道について検討すると回答されている。状況を伺う。</p> <p>② 周辺は住宅団地、アパート群の建設、大規模な駐車場の整備等による雨水の排水対策の充実が求められますが、計画を伺います。</p> <p>ア 周辺新川地域の排水路の現状を伺う。</p> <p>イ 平成28年12月議会の一般質問で、付近の雨水は、JR段原鉄橋付近で地下浸透しており、現地の調査を行い可能な対策をすると回答されている。その後の状況、計画はいかがか。</p> <p>ウ 都市計画道路の整備に合わせて、道路に沿った形での排水計画を検討されたいがいかがか。</p>	
(2) 身寄りのないお年寄りに寄り添う市政を求めます	
<p>① 斐川町内の60代男性から、「身寄りのないお年寄りの入院・葬儀などのお手伝いについて、1月20日の山陰中央新報に掲載されていた。是非とも必要な事業であり、出雲市としても実施するよう取り計らって頂きたい」という要望がありました。実際私たちの周りでもそういう方が年々増えており、大切な課題です。実態と今後の対応を伺います。</p> <p>ア 一人暮らしあるいは高齢者世帯数の実態と今後の推移予想</p> <p>イ 社会福祉協議会が実施している身寄りのないお年寄りに寄り添う事業</p> <p style="margin-left: 20px;">a 現在取り組んでいる入院・葬儀等の相談体制と課題</p> <p style="margin-left: 20px;">b 身元保証人探し・遺体・遺品の引き取りなどの課題</p> <p style="margin-left: 20px;">c 今後の取り組み</p> <p>ウ 社会福祉協議会への寄付金（香典返し）の実態</p> <p style="margin-left: 20px;">a 斐川町との合併直後と現在までの推移。相当の減額だがその原因と対策</p> <p style="margin-left: 20px;">b 使用目的に制限はあるのか。上記事業に活用できないか。</p>	

質問者	3	山内英司
質問事項・質問内容		
(1) 出雲市中学校総合体育大会の代替大会について		
① 出雲市の中学校総体の競技数を伺います。 ② 出雲市中学校総体開催による市の費用負担総額を伺います。 ③ 代替大会開催について中体連、市の現在の考えを伺います。		

質問者	9 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 新型コロナウイルス感染症流行下での高齢者生活支援（新しい生活様式に基づく今後の課題）	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染症流行下での高齢者生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ア 今後の高齢者の健康増進・介護予防について イ 今後の展望と課題 ウ フレイル対策について エ 新しい生活様式の啓発（高齢者） 	
(2) 平和祈念式典と次世代への継承について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 <ul style="list-style-type: none"> ア 近年の参列者数の推移 イ 今までの取組と課題 ② 戦没者遺族の高齢化に伴う次世代への継承について <ul style="list-style-type: none"> ア 今までの取組と課題 	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) 地籍調査の促進と森林境界の明確化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 国土調査事業10カ年計画が閣議決定されたが、その概要と評価を伺う。 ② 優先実施地域の指定や効率的な調査手法の導入などにより、本市の地籍調査がスピードアップするのか伺う。 ③ 令和元年度に実施された森林整備地域活動支援交付金による森林境界明確化事業の概要と評価を伺う。 ④ 林地台帳の現況と今後の整備方針を伺う。 	
(2) 出雲市立総合医療センターにおける人間ドック及び各種健診について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月20日から人間ドック及び各種健診業務を休止されたが、その影響を伺う。 ② 国の緊急事態宣言解除などの状況を踏まえ、5月25日から再開されたが、それに伴う対応と今後の見通しを伺う。 	

質問者	19 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市スポーツ推進計画（H28～R3）の現状と課題について伺います。	
<p>① 『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』を基本理念としてこれまで取り組まれてきた成果について伺います。</p> <p>② 少子化、高齢化、人口減少等予期されてきたことではあるが計画と実施において乖離があったのではないかと。克服すべき課題は何か伺います。</p> <p>③ 高齢者人口が52,031人、高齢化率29.77%の現況数値は数年、横ばいないし微増とされています。高齢者にいきいき、はつらつ、元気で活動していただくために文化スポーツ関係に積極的に参加し健康増進の機会をつくることも大切ではないかと伺います。</p> <p>④ 高齢者の文化スポーツ人口を高め健康寿命を延ばす意味からも他市が行っている利用料金の減免規定を導入し市政振興に資する考えはないかと伺います。</p> <p>⑤ 推進計画では幼年期、青少年期の取り組みが生涯において極めて重要と述べています。しかし、3月19日全員協議会で報告された市立小、中学校児童生徒等への文書等配布の取り扱いについては、教員の働き方改革の名の下に、小、中学校において一人一部配布されていた文書は4月1日から取りやめとなりました。関係者においては自治会未加入者等が増加しつつある中で情報が伝わらない事も生じると懸念の声が寄せられています。このことについて学校教育課と文化スポーツ課と協議された中で課題・問題点としていることについて伺います。</p> <p>⑥ スポーツ推進計画の理念から基礎体力の養成は重要であります。上記の文書配布等の情報伝達以外にいかなる有効な方法を検討されているかと伺います。</p>	

質問者	2 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 「新しい生活様式」を取り入れた市役所の対応について	
<p>① 新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、新しい生活様式を取り入れた新たな日常生活を実践することになるが、市役所庁舎等の対応を伺う。</p> <p>ア 各種窓口や会議室など施設面の対応 イ 来庁者及び職員等が実践すべき事項 ウ 来庁を必要としないシステムの検討</p> <p>② 新しい生活様式では「密集・密接・密閉」いわゆる「3密」を回避することを求められるが、斐川行政センターの窓口や待合が混雑する時期の対応について伺う。</p> <p>ア 混雑する時期について イ 混雑する詳細な理由について ウ 現在までの対応策及び課題</p>	
(2) 出雲市の広報及び情報発信について	
<p>① 臨時号として令和2年6月1日に発行された「広報いずも」。新型コロナウイルス感染症による影響を考慮した適切な発行だったと考えるが、次の点について伺う。</p> <p>ア 配布先及び配布方法について イ 臨時号に込めた市長の思い ウ 防災に関する内容を含める余地はなかったか</p>	
(3) 新型コロナウイルス感染症による公共交通機関への影響	
<p>① 出雲空港7時50分発、各バス停経由で運行していた「出雲空港連絡バス定時便」が令和2年5月31日をもって廃止された件など、公共交通機関への影響を伺う。</p> <p>ア 市内公共交通機関への影響（航空機を除く） イ 廃止に伴う運行会社からの連絡や、停留所沿線住民への周知について ウ 廃止に関する市の所見と今後の対応について</p>	

質問者	8 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の未来は明るいですか	
<p>① 教育について</p> <p>ア 新型コロナウイルス問題が始まって以来半年が過ぎました。わが出雲市でも残念ながら感染者が出ました。感染者の家に誰かが石を投げたとの噂を聞きました。イジメたり、投石をしてはいけませんと、学校教育で、教えていますか。それは何年生の時ですか。どのような方法で教えていますか。</p> <p>② 観光について</p> <p>ア 新型コロナウイルス問題が始まって以来半年が過ぎました。コロナ終息後の観光客を戻すにはどうしたらいいのでしょうか。観光客は、何を求めて出雲にくるのでしょうか。問題解決のアイデアはありますか。</p>	